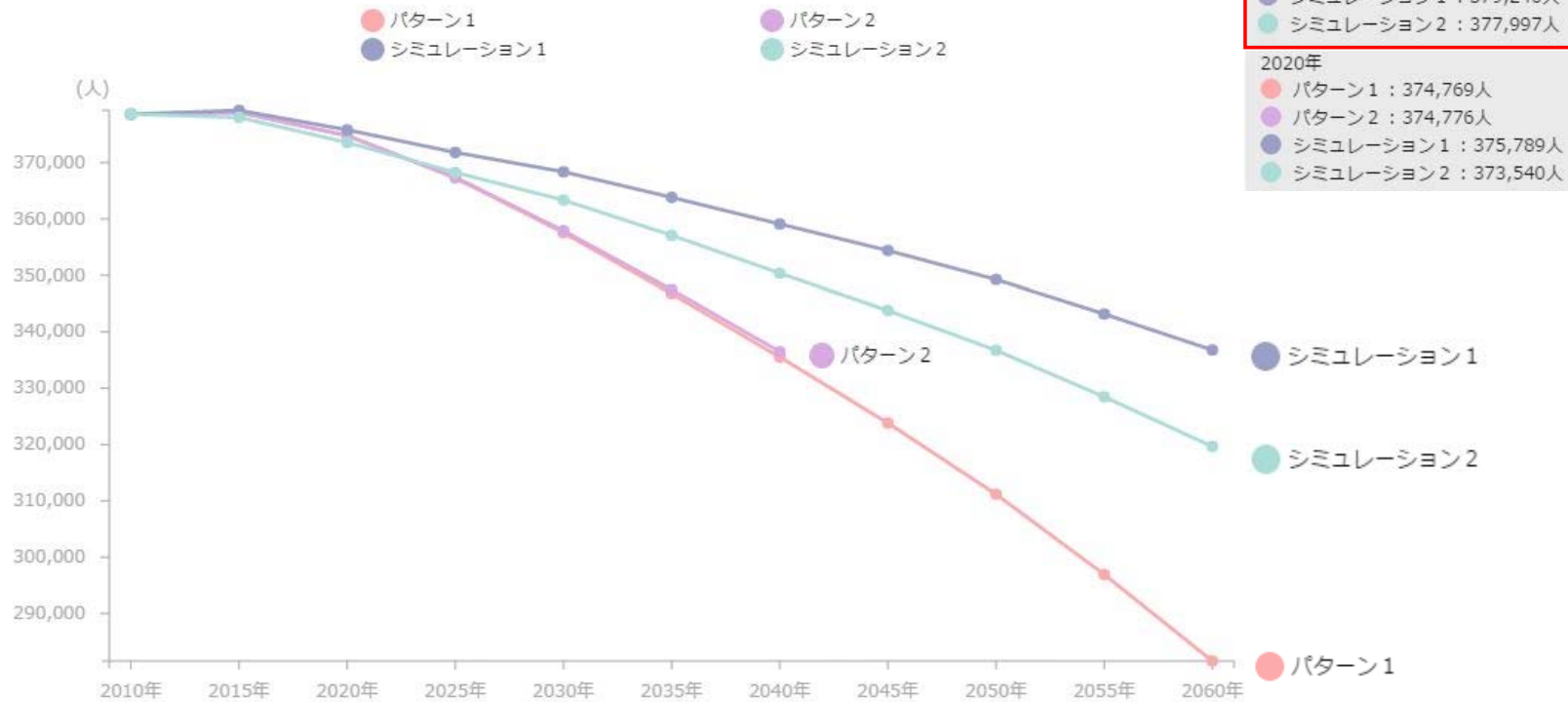


# 一宮市の人口動態

## 1. 総人口の推計

愛知県一宮市



2010年	パターン1 : 378,567人	パターン2 : 378,567人	シミュレーション1 : 378,567人	シミュレーション2 : 378,567人
2015年	パターン1 : 378,880人	パターン2 : 378,880人	シミュレーション1 : 379,240人	シミュレーション2 : 377,997人
2020年	パターン1 : 374,769人	パターン2 : 374,776人	シミュレーション1 : 375,789人	シミュレーション2 : 373,540人
2025年	パターン1 : 367,247人	パターン2 : 367,363人	シミュレーション1 : 371,787人	シミュレーション2 : 368,235人
2030年	パターン1 : 357,544人	パターン2 : 357,899人	シミュレーション1 : 368,343人	シミュレーション2 : 363,327人
2035年	パターン1 : 346,774人	パターン2 : 347,476人	シミュレーション1 : 363,820人	シミュレーション2 : 357,087人
2040年	パターン1 : 335,536人	パターン2 : 336,484人	シミュレーション1 : 359,093人	シミュレーション2 : 350,380人
2045年	パターン1 : 323,811人	シミュレーション1 : 354,394人	シミュレーション2 : 343,786人	
2050年	パターン1 : 311,161人	シミュレーション1 : 349,272人	シミュレーション2 : 336,739人	
2055年	パターン1 : 296,914人	シミュレーション1 : 343,177人	シミュレーション2 : 328,472人	
2060年	パターン1 : 281,548人	シミュレーション1 : 336,794人	シミュレーション2 : 319,650人	

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

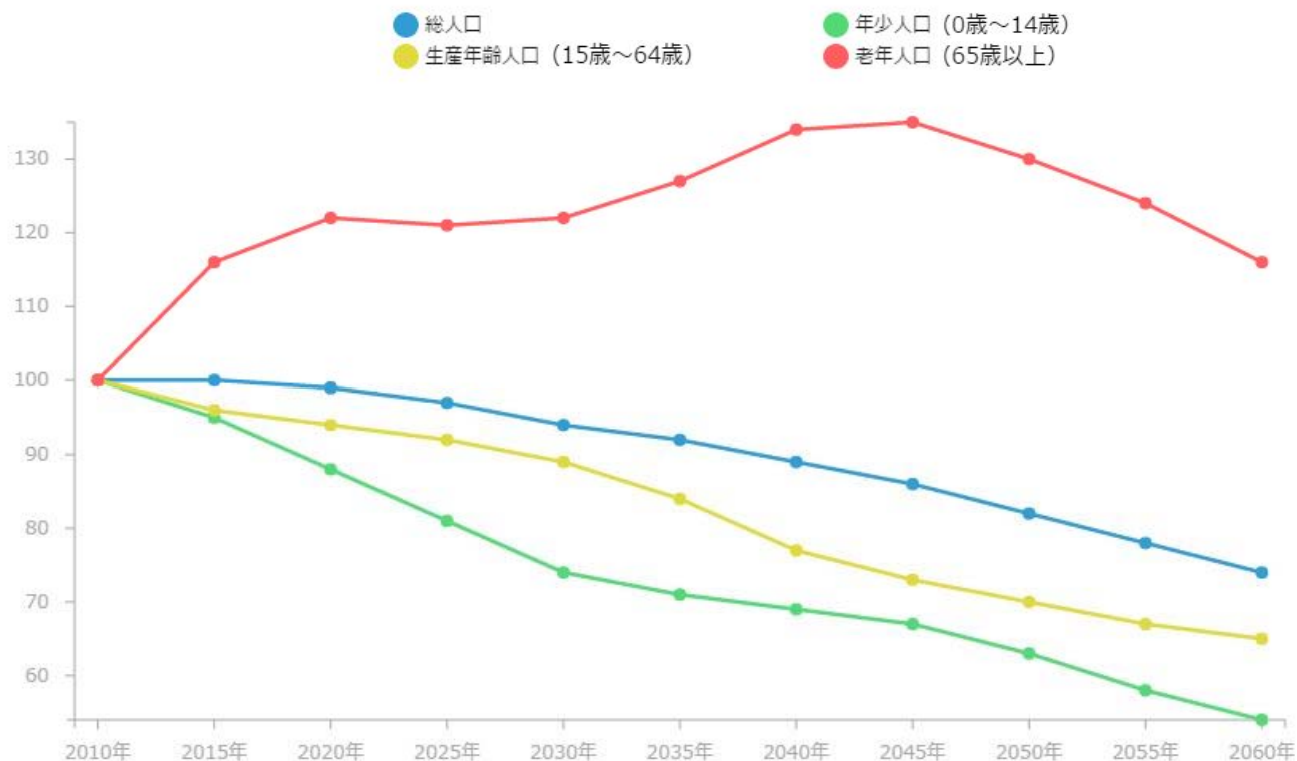
【注記】パターン1: 全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計(社人研推計準拠)  
 パターン2: 全国の総移動数が、平成22年から平成27年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計(日本創生会議推計準拠)  
 シミュレーション1: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇したとした場合のシミュレーション  
 シミュレーション2: 合計特殊出生率が人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.1)まで上昇し、かつ人口移動が均衡したとした(移動が0になった)場合のシミュレーション

(出展: 国の地域経済分析システム)

## 2・年齢3区分別人口の推計

愛知県一宮市

※1ページの資料のパターン1の数値(社人研推計を基に全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計)を基準にしたグラフ



2010年	2040年
● 総人口 : 100	● 総人口 : 89
● 年少人口 : 100	● 年少人口 : 69
● 生産年齢人口 : 100	● 生産年齢人口 : 77
● 老年人口 : 100	● 老年人口 : 134
2015年	2045年
● 総人口 : 100	● 総人口 : 86
● 年少人口 : 95	● 年少人口 : 67
● 生産年齢人口 : 96	● 生産年齢人口 : 73
● 老年人口 : 116	● 老年人口 : 135
2020年	2050年
● 総人口 : 99	● 総人口 : 82
● 年少人口 : 88	● 年少人口 : 63
● 生産年齢人口 : 94	● 生産年齢人口 : 70
● 老年人口 : 122	● 老年人口 : 130
2025年	2055年
● 総人口 : 97	● 総人口 : 78
● 年少人口 : 81	● 年少人口 : 58
● 生産年齢人口 : 92	● 生産年齢人口 : 67
● 老年人口 : 121	● 老年人口 : 124
2030年	2060年
● 総人口 : 94	● 総人口 : 74
● 年少人口 : 74	● 年少人口 : 54
● 生産年齢人口 : 89	● 生産年齢人口 : 65
● 老年人口 : 122	● 老年人口 : 116
2035年	2065年
● 総人口 : 92	● 総人口 : 71
● 年少人口 : 71	● 年少人口 : 51
● 生産年齢人口 : 84	● 生産年齢人口 : 62
● 老年人口 : 127	● 老年人口 : 111

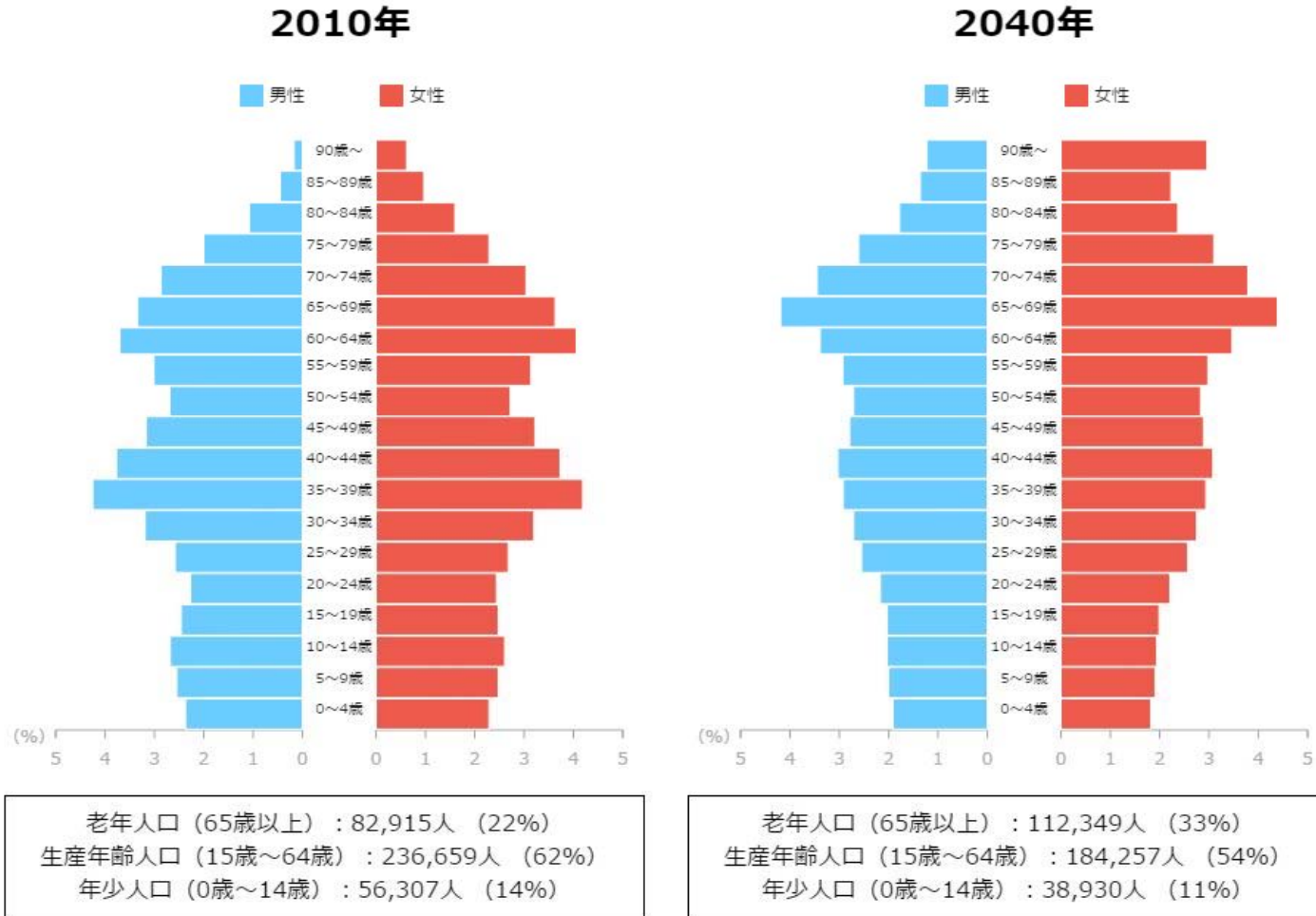
【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

【注記】2010年の人口を100とし、各年の人口を数値化している。

(出展: 国の地域経済分析システム)

### 3・人口ピラミッドの推計

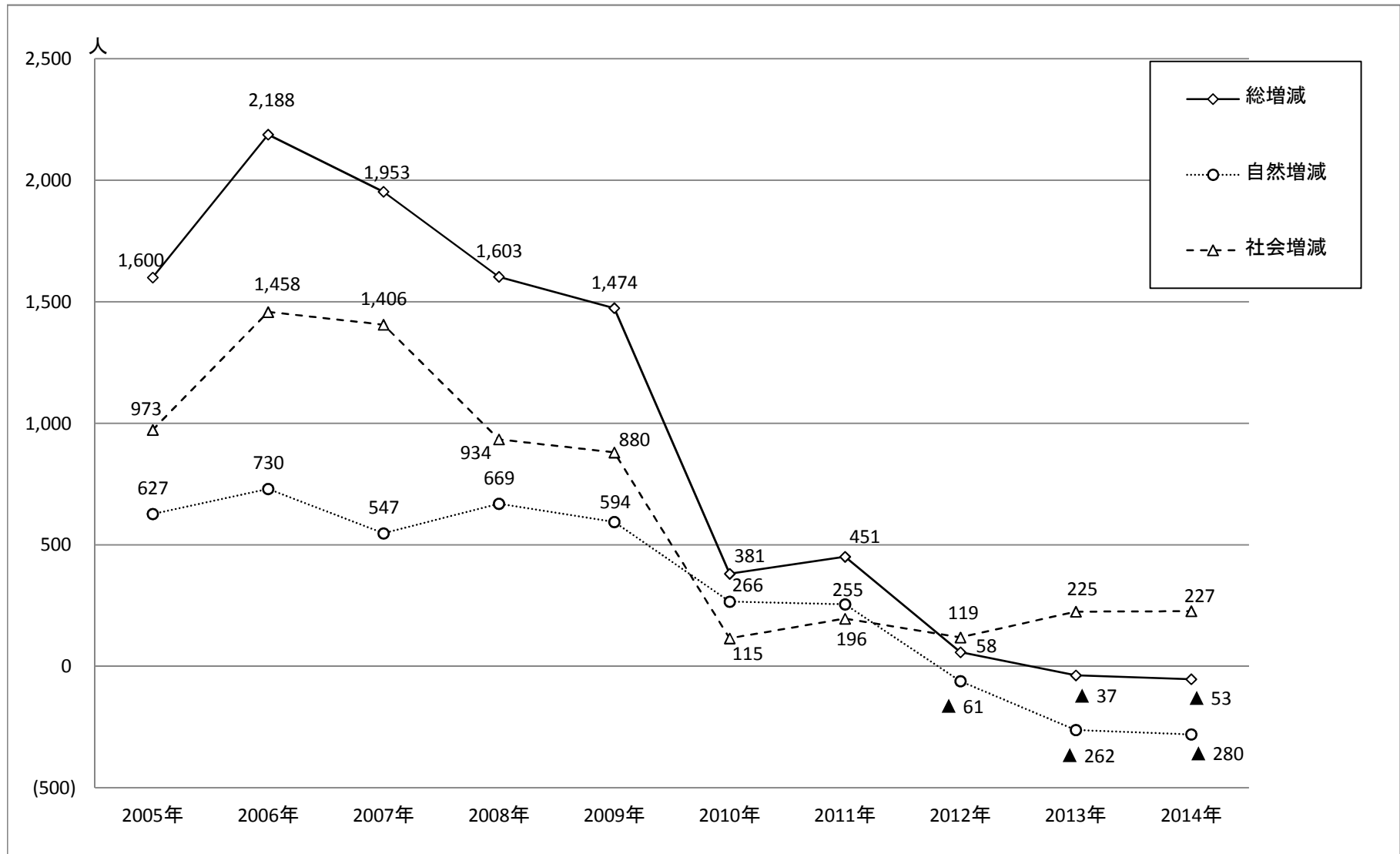
愛知県一宮市



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

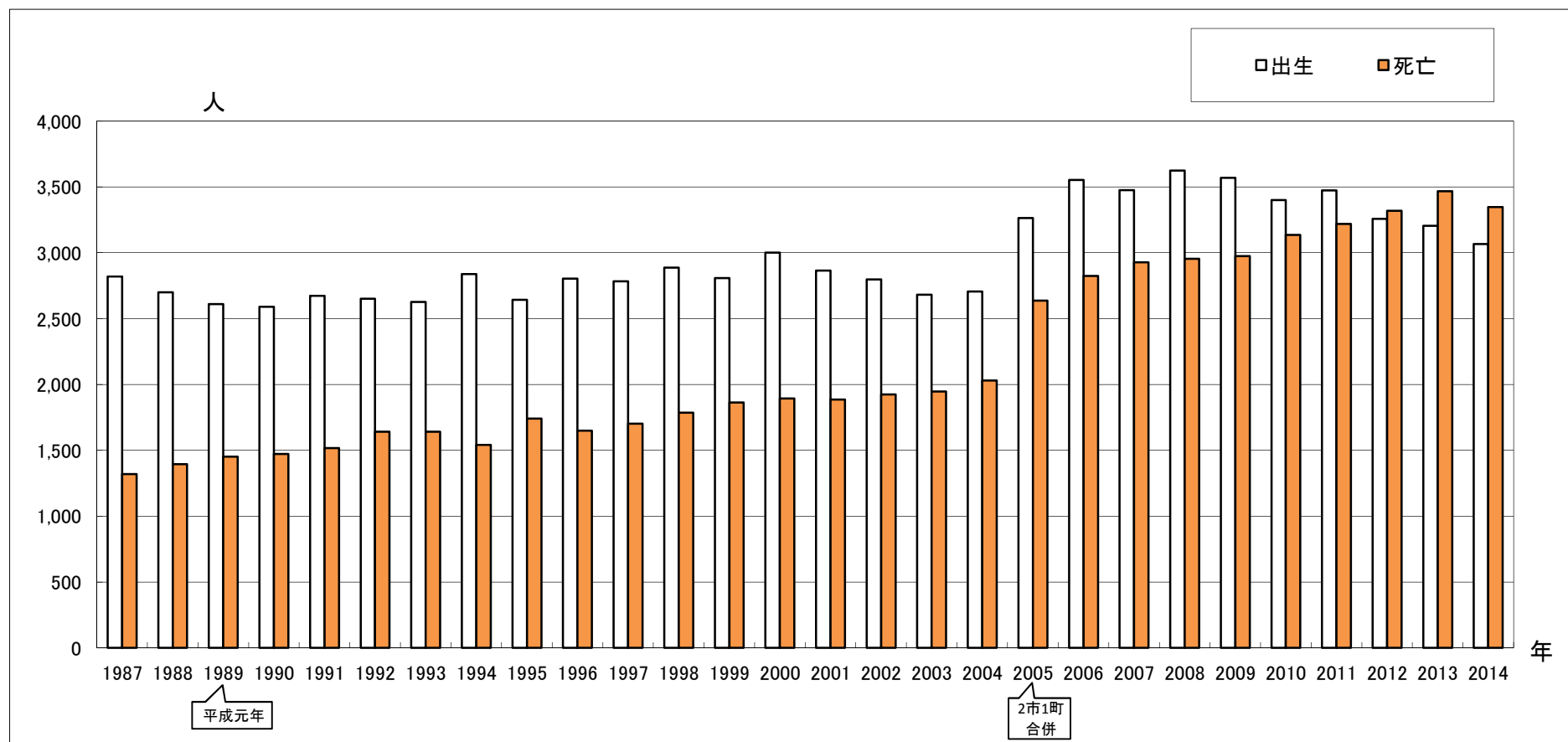
【注記】2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いている。

## 4・過去10年間の年別人口増減



(出展: 2014一宮市の人口動態)

## 5・出生者数・死亡者数の年次推移

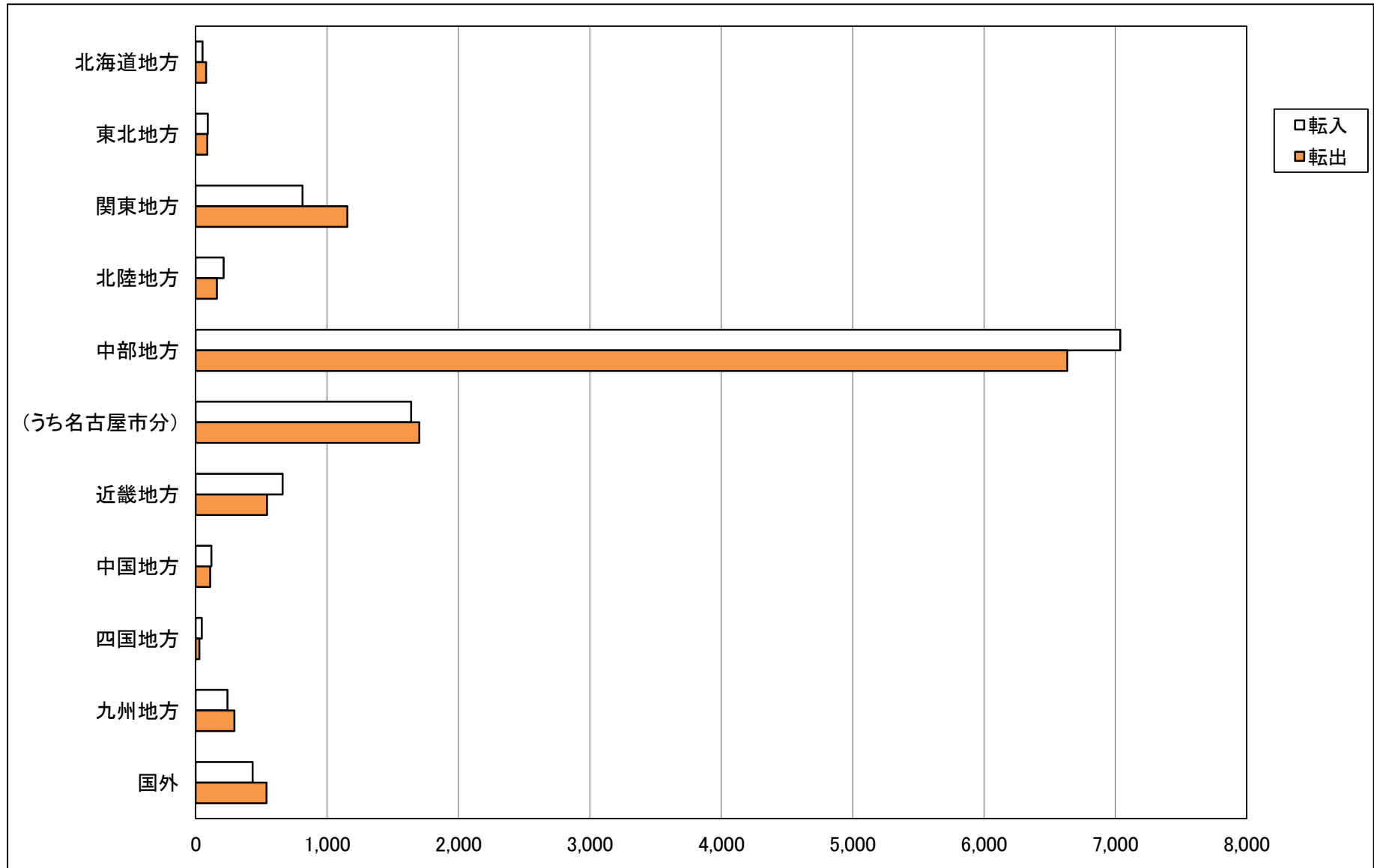


年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年
出生者数	2,820	2,699	2,610	2,589	2,672	2,651	2,626	2,838	2,642	2,804	2,782	2,886	2,808	3,001
死亡者数	1,319	1,394	1,452	1,471	1,516	1,640	1,641	1,541	1,741	1,649	1,701	1,786	1,862	1,894

年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
出生者数	2,864	2,797	2,681	2,705	3,263	3,553	3,474	3,623	3,569	3,400	3,473	3,256	3,204	3,066
死亡者数	1,886	1,924	1,946	2,029	2,636	2,823	2,927	2,954	2,975	3,134	3,218	3,317	3,466	3,346

(出展:2014一宮市の人口動態)

## 6・平成26年転入・転出地方別比較

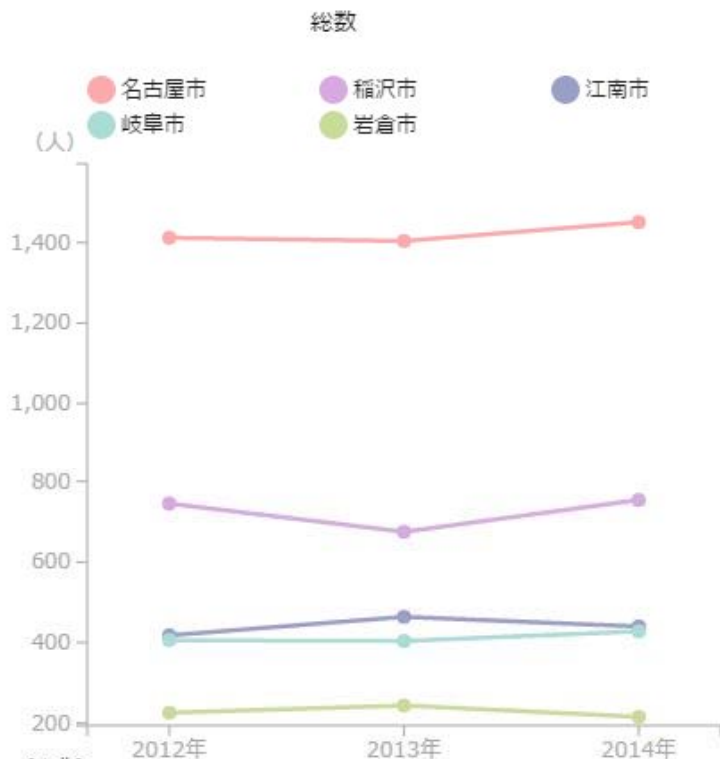


(出展:2014一宮市の人口動態)

# 7・社会増減の転入元、転出先の分析

## 愛知県一宮市

### 転入数上位5地域



【出典】

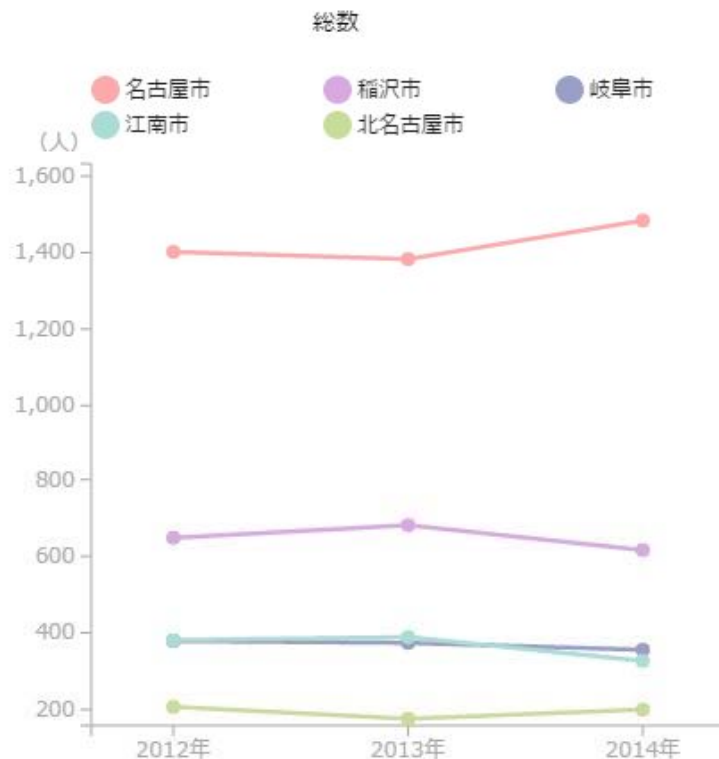
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

【注記】

龍本市については、2012年4月1日に政令指定都市となったため、2012年のデータにおける龍本市に属する区のデータについては、4月から12月までの9か月分となる。

2012年	2013年	2014年
名古屋市：1,412人	名古屋市：1,404人	名古屋市：1,451人
稲沢市：745人	稲沢市：675人	稲沢市：754人
江南市：418人	江南市：464人	江南市：440人
岐阜市：406人	岐阜市：404人	岐阜市：428人
岩倉市：226人	岩倉市：244人	岩倉市：216人

### 転出数上位5地域



2012年	2013年	2014年
名古屋市：1,402人	名古屋市：1,383人	名古屋市：1,484人
稲沢市：648人	稲沢市：681人	稲沢市：616人
岐阜市：379人	岐阜市：374人	岐阜市：356人
江南市：381人	江南市：389人	江南市：327人
北名古屋市：207人	北名古屋市：176人	北名古屋市：200人

(出展：国の地域経済分析システム)

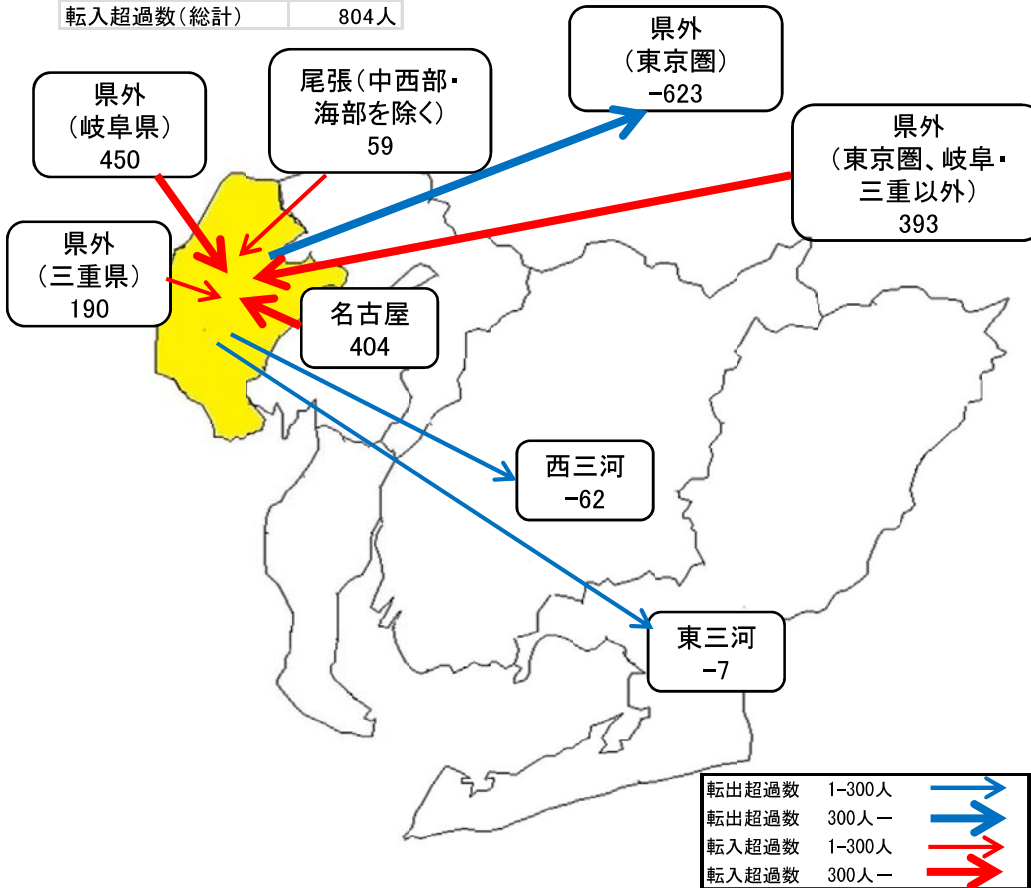


## 8・愛知県内の地域別転入出の状況（尾張中西部・海部地域）

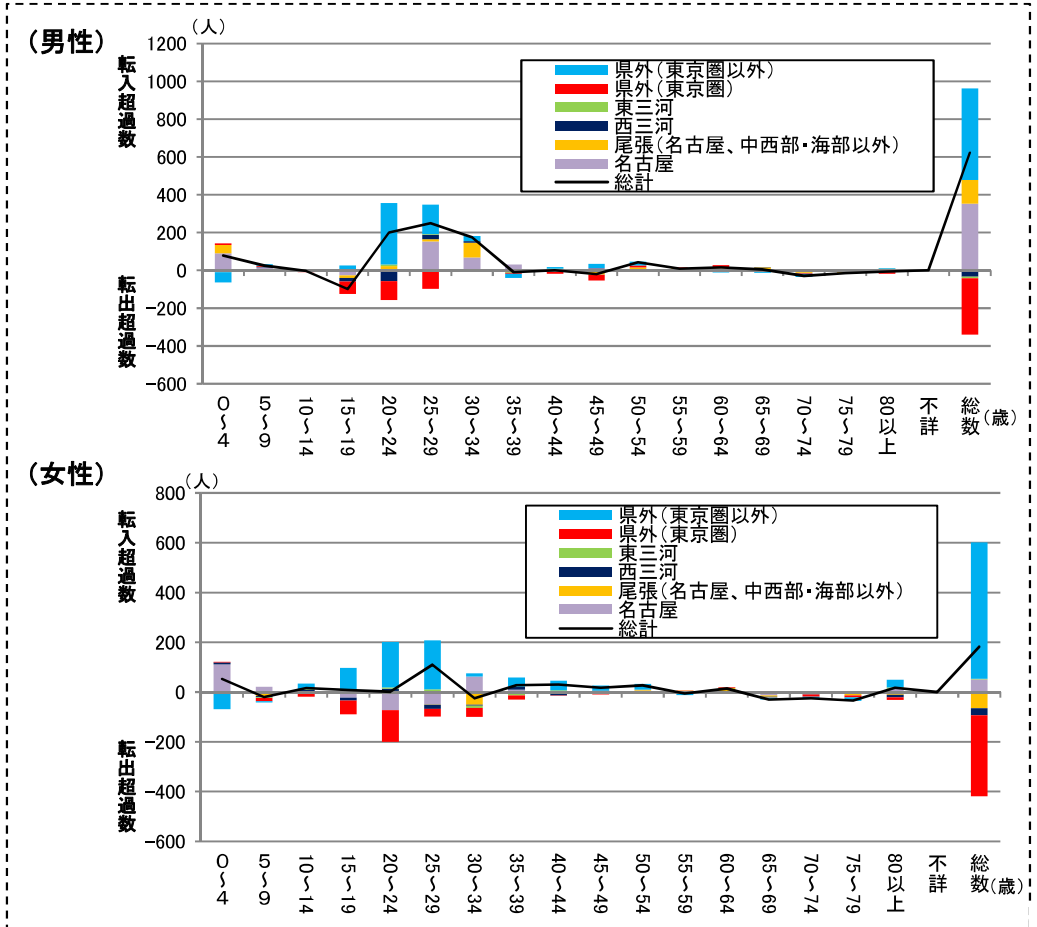
- 平成25年における尾張中西部・海部地域の転入出は、804人の転入超過となっている。名古屋や岐阜県、三重県に対して転入超過となっている一方、東京圏や西三河地域に対しては、転出超過となっている。
- 男女別にみると、男性は、20～34歳で転入超過となっているのに対し、女性は、25～29歳で転入超過となっているものの、どの年齢層においても概ね転入出は拮抗している。

転入・転出の状況（尾張中西部・海部）

転入超過数（県内）	394人
転入超過数（県外）	410人
転入超過数（総計）	804人

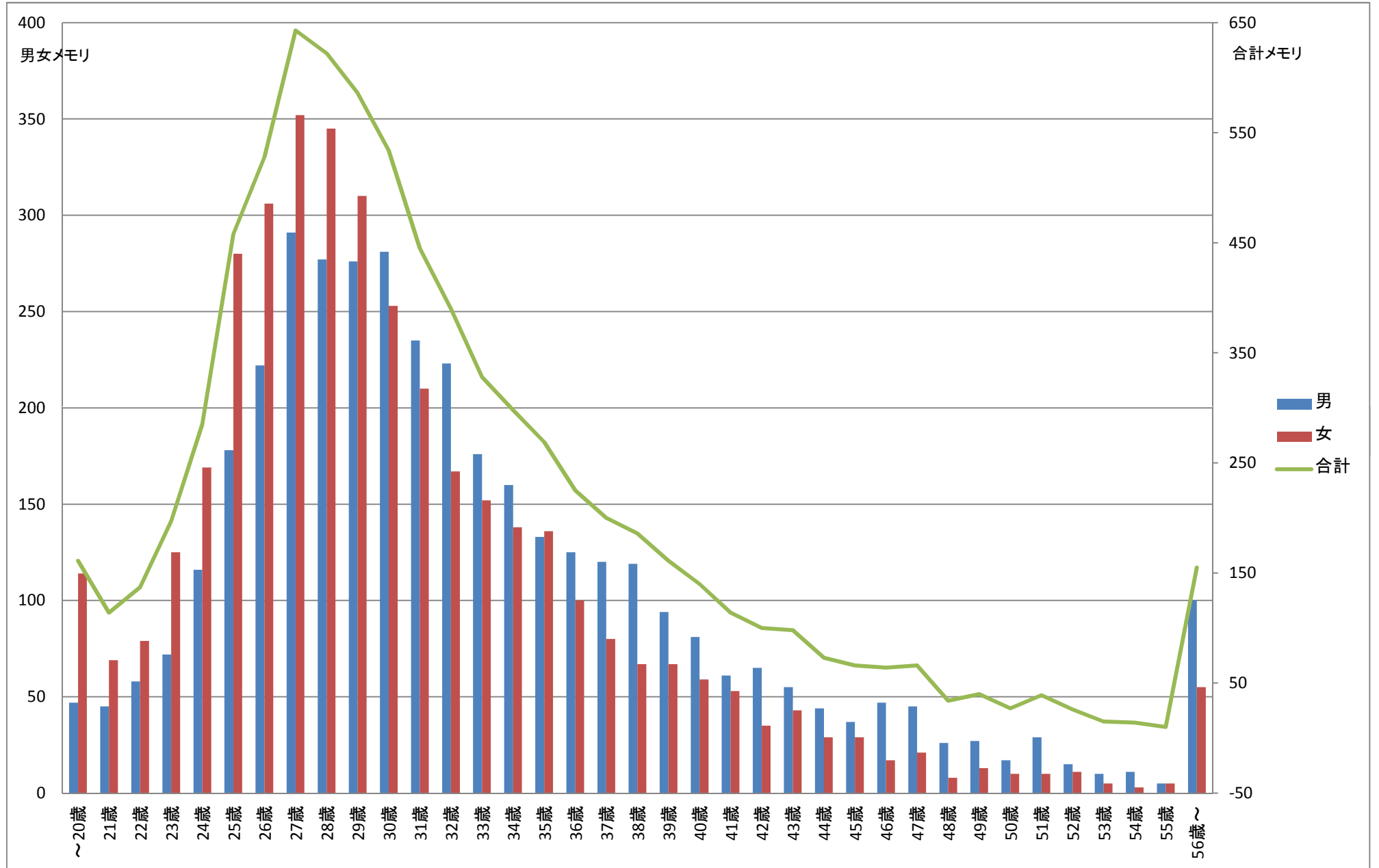


5歳階級別純移動数（尾張中西部・海部）

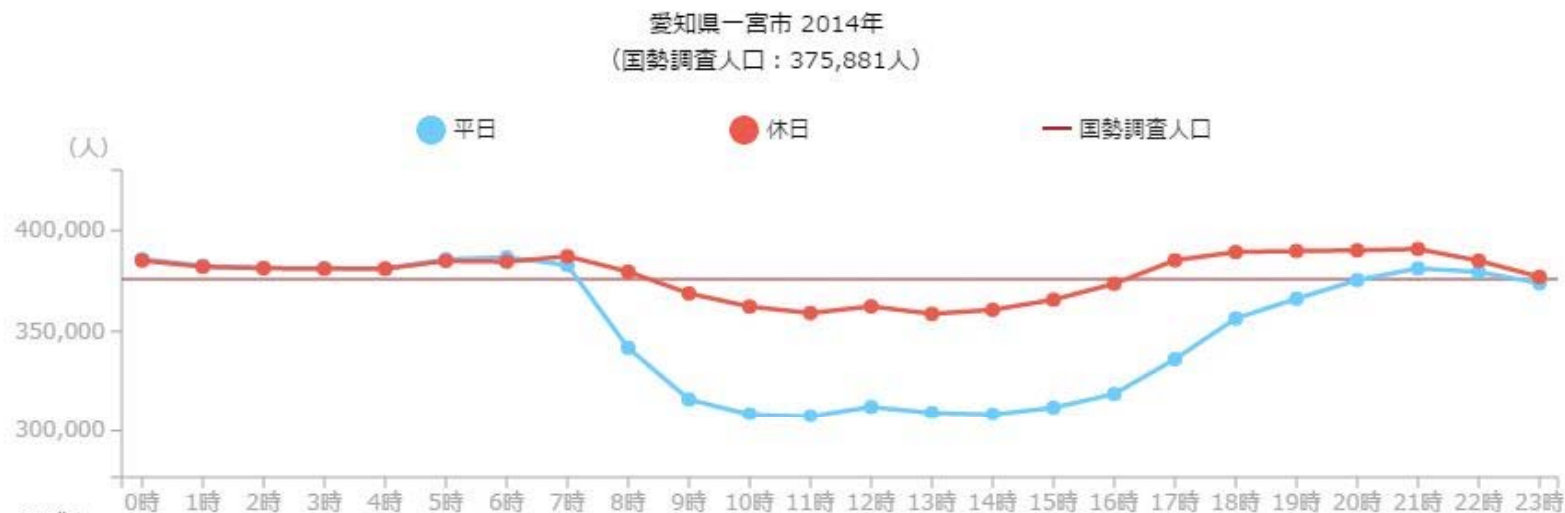




# 9・平成26年中の市への届出書にみる婚姻年齢



## 10・市内滞在人口の時間別推移



【出典】

株式会社Agoop「流動人口データ」

【注記】

滞在人口とは、市区町村単位で滞在時間が2時間の人口を表している。

熊本市の区については、熊本市が平成24年4月に政令指定都市となったため、平成22年の国勢調査人口が区単位になっておらず、滞在人口率は計算されない。

0時 ● 平日：385,800人 ● 休日：385,100人	1時 ● 平日：382,500人 ● 休日：382,000人	2時 ● 平日：381,400人 ● 休日：381,300人	3時 ● 平日：381,300人 ● 休日：381,000人	4時 ● 平日：381,000人 ● 休日：381,100人	5時 ● 平日：385,700人 ● 休日：384,900人	6時 ● 平日：386,700人 ● 休日：384,500人	7時 ● 平日：382,800人 ● 休日：387,200人	8時 ● 平日：341,900人 ● 休日：379,600人	9時 ● 平日：316,300人 ● 休日：368,800人	10時 ● 平日：308,800人 ● 休日：362,300人
11時 ● 平日：307,800人 ● 休日：359,100人	12時 ● 平日：312,600人 ● 休日：362,400人	13時 ● 平日：309,500人 ● 休日：358,700人	14時 ● 平日：308,700人 ● 休日：360,700人	15時 ● 平日：312,200人 ● 休日：365,700人	16時 ● 平日：319,000人 ● 休日：373,600人	17時 ● 平日：336,300人 ● 休日：385,200人	18時 ● 平日：356,400人 ● 休日：389,300人	19時 ● 平日：366,200人 ● 休日：389,800人	20時 ● 平日：375,400人 ● 休日：390,100人	21時 ● 平日：381,200人 ● 休日：390,800人
22時 ● 平日：379,400人 ● 休日：385,000人	23時 ● 平日：373,900人 ● 休日：377,000人									

(出展：国の地域経済分析システム)

## 平日

### 順位

愛知県一宮市

2014年

都道府県内

全国

66位

1,308位

全国上位10市区町村

全国下位10市区町村

指定地域の上位下位5市区町村

1位	東京都千代田区	1,886位	東京都小笠原村
2位	大阪府大阪市中央区	1,888位	東京都青ヶ島村
3位	愛知県飛島村	1,889位	鹿児島県三島村
4位	東京都港区	1,890位	奈良県野迫川村
5位	東京都中央区	1,891位	東京都御蔵島村
6位	大阪府大阪市北区	1,891位	熊本県熊本市北区
7位	愛知県名古屋市中区	1,891位	熊本県熊本市南区
8位	東京都渋谷区	1,891位	熊本県熊本市西区
9位	東京都新宿区	1,891位	熊本県熊本市東区
10位	神奈川県横浜市西区	1,891位	熊本県熊本市中央区

1,308位	広島県竹原市
1,308位	和歌山県紀美野町
1,308位	兵庫県西脇市
1,308位	大阪府高槻市
1,308位	三重県松阪市
1,308位	愛知県一宮市
1,308位	静岡県静岡市清水区
1,308位	長野県佐久穂町
1,308位	千葉県白子町
1,308位	栃木県益子町
1,308位	栃木県日光市

## 休日

### 順位

愛知県一宮市

2014年

都道府県内

全国

61位

1,271位

全国上位10市区町村

全国下位10市区町村

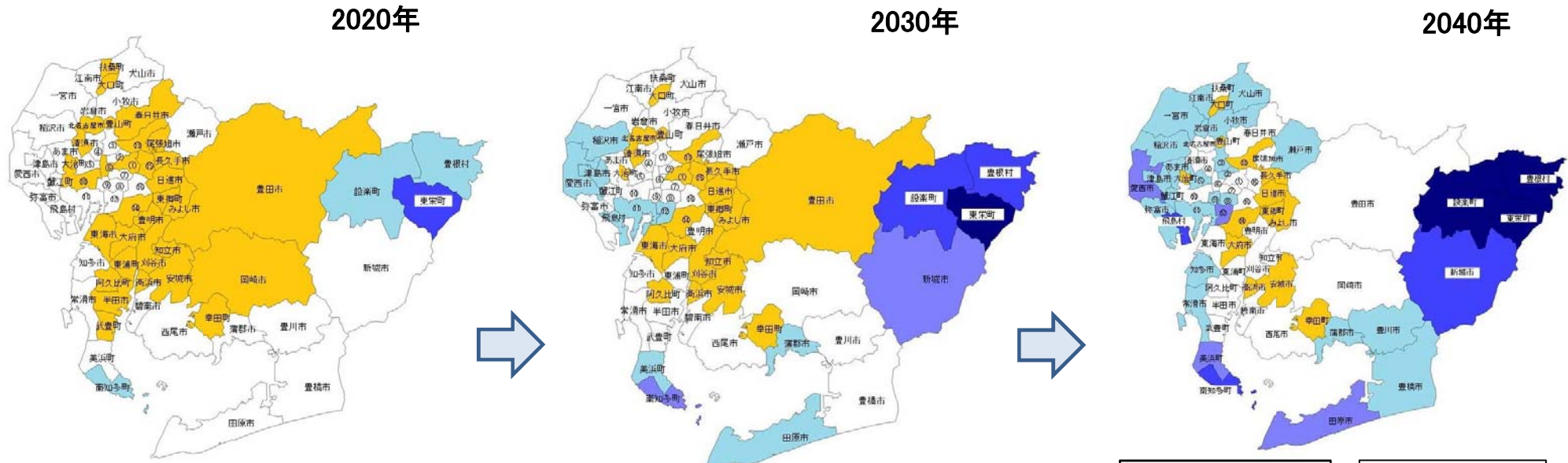
指定地域の上位下位5市区町村

1位	東京都千代田区	1,887位	沖縄県伊平屋村	1,271位	福岡県大牟田市
2位	大阪府大阪市中央区	1,887位	東京都小笠原村	1,271位	香川県さぬき市
3位	大阪府大阪市北区	1,889位	東京都青ヶ島村	1,271位	京都府京都市山科区
4位	愛知県名古屋市中区	1,890位	北海道西興部村	1,271位	滋賀県東近江市
5位	愛知県飛島村	1,891位	東京都利島村	1,271位	愛知県瀬戸市
6位	神奈川県箱根町	1,891位	熊本県熊本市北区	1,271位	愛知県一宮市
7位	鳥取県日吉津村	1,891位	熊本県熊本市南区	1,271位	静岡県松崎町
8位	東京都渋谷区	1,891位	熊本県熊本市西区	1,271位	長野県川上村
9位	熊本県嘉島町	1,891位	熊本県熊本市東区	1,271位	東京都狛江市
10位	東京都港区	1,891位	熊本県熊本市中央区	1,271位	福島県天栄村
				1,271位	福島県郡山市

(出展:国の地域経済分析システム)

# 1 1 ・ 愛知県内の市町村別人口の推計

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、名古屋市近郊の尾張東部地域や、我が国屈指の産業集積地である西三河地域では、当面、人口増加が続くことが見込まれている。
- 一方で、三河山間部や知多半島南部などの沿岸部においては、人口減少が急速に進んでいくことが見込まれている。



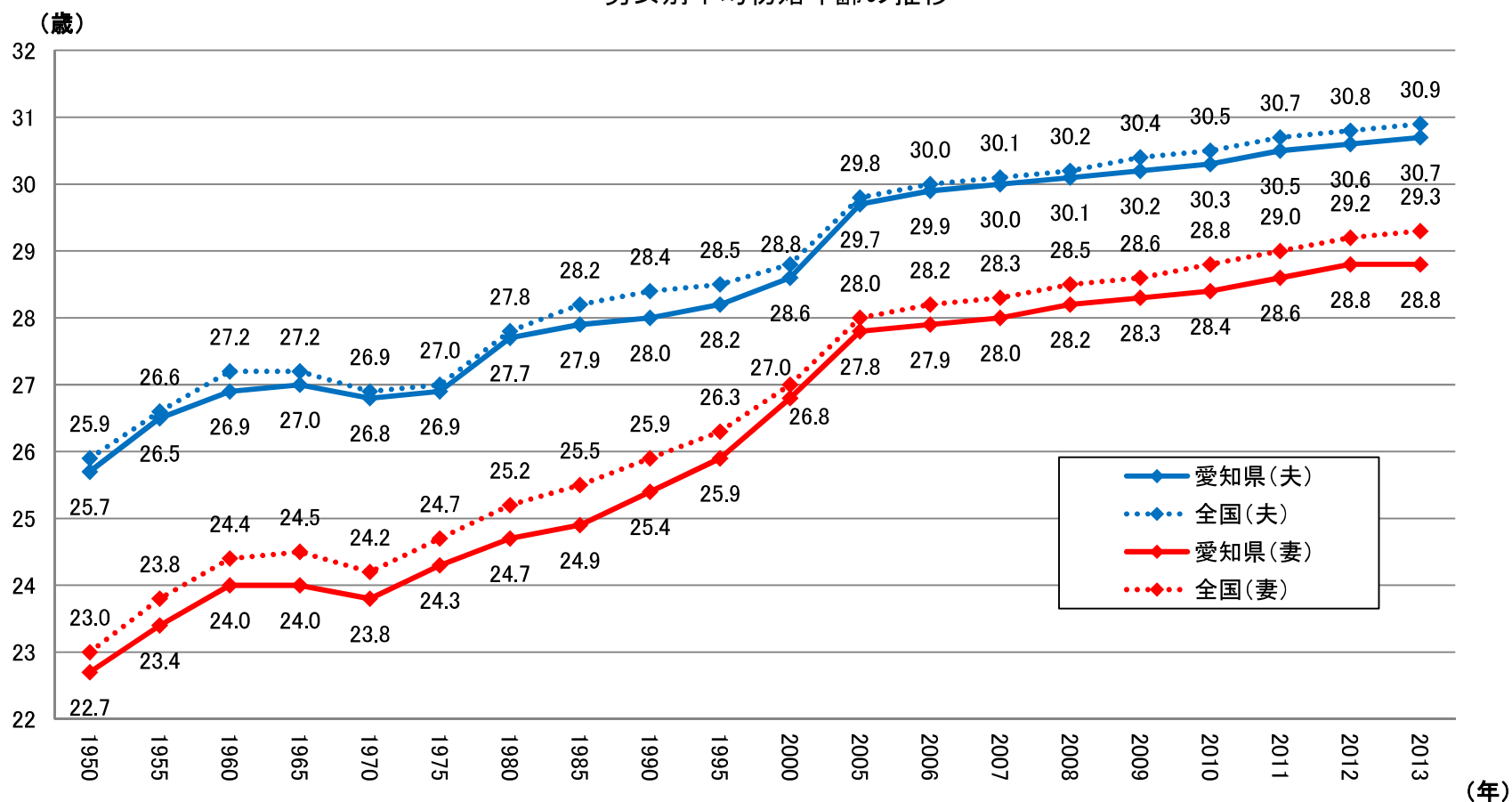
<b>名古屋市</b>	<b>市町村別推計人口</b> (対2010年比)
① 千種区 ⑨ 熱田区	■ ~60
② 東区 ⑩ 中川区	■ 60~70
③ 北区 ⑪ 港区	■ 70~80
④ 西区 ⑫ 南区	■ 80~90
⑤ 中村区 ⑬ 守山区	□ 90~100
⑥ 中区 ⑭ 緑区	■ 100~
⑦ 昭和区 ⑮ 名東区	
⑧ 瑞穂区 ⑯ 天白区	

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(H25.3推計) / 愛知県作成

## 1 2 ・ 平均初婚年齢の推移

- 平均初婚年齢は、全国と同様、長期的な上昇傾向にあり、晩婚化が進行している。2013年で、夫30.7歳、妻28.8歳となっており、1970年と比較すると、夫は3.9歳、妻は5.0歳高い。
- 全国に比べると、男女ともに若い傾向が続いている。

男女別平均初婚年齢の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」

／愛知県作成

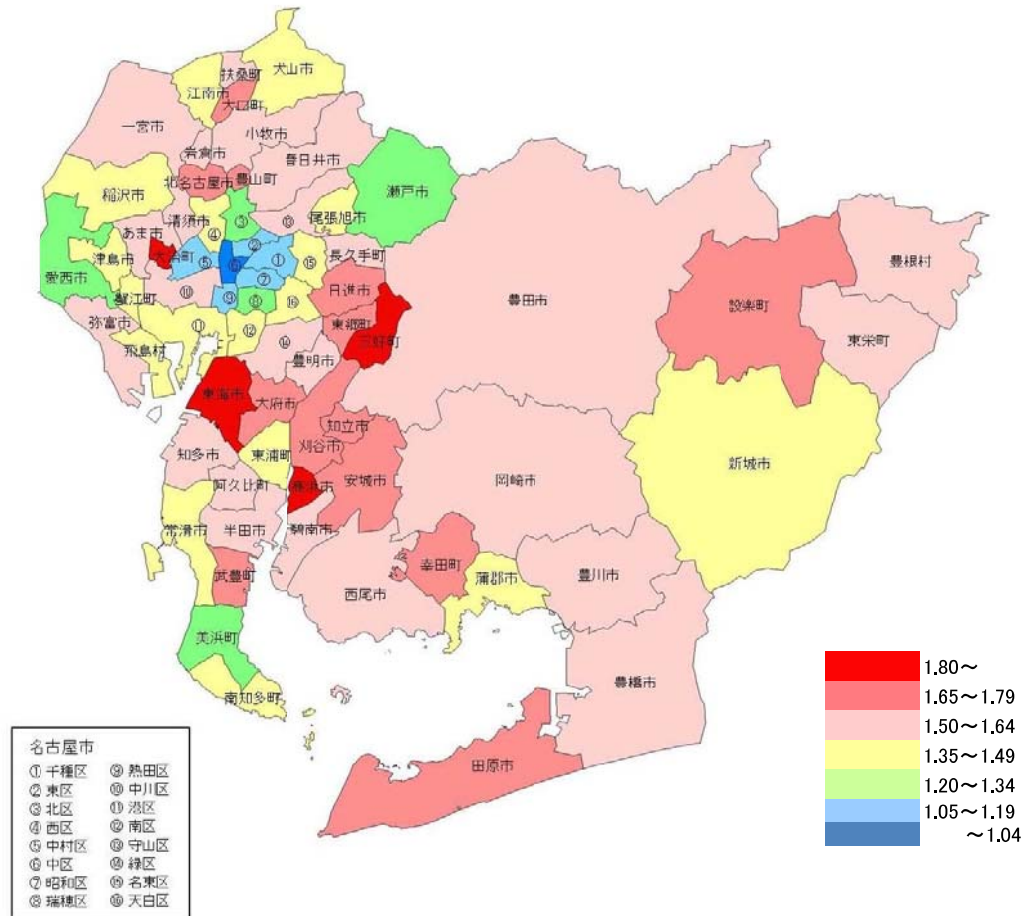
## 13・愛知県内の市町村別合計特殊出生率

- 平成20～24年の市町村別合計特殊出生率を見ると、上位5市町村は、大治町(1.84)、東海市(1.82)、みよし市(1.81)、高浜市(1.8)、知立市(1.79)。
- 下位5市町村は、美浜町(1.22)、愛西市(1.25)、瀬戸市(1.30)、名古屋市(1.35)、津島市(1.38)。
- 製造業を中心に産業が集積している西三河地域、知多北部地域が比較的高く、名古屋市中心部で低い傾向がみられる。

※下記表の合計特殊出生率はH20～24の5年間の平均

	合計特殊出生率
名古屋市	1.35
千種区	1.17
東区	1.14
北区	1.34
西区	1.37
中村区	1.13
中区	0.97
昭和区	1.12
瑞穂区	1.26
熱田区	1.18
中川区	1.53
港区	1.48
南区	1.38
守山区	1.65
緑区	1.60
名東区	1.35
天白区	1.40
豊橋市	1.59
岡崎市	1.63
一宮市	1.52
瀬戸市	1.30
半田市	1.54
春日井市	1.59
豊川市	1.62
津島市	1.38
碧南市	1.63
刈谷市	1.77
豊田市	1.62
安城市	1.75
西尾市	1.58
蒲郡市	1.43
犬山市	1.41
常滑市	1.39
江南市	1.42
小牧市	1.55
稲沢市	1.40
新城市	1.41
東海市	1.82
大府市	1.73

	合計特殊出生率
知多市	1.52
知立市	1.79
尾張旭市	1.41
高浜市	1.80
岩倉市	1.59
豊明市	1.42
日進市	1.69
田原市	1.66
愛西市	1.25
清須市	1.63
北名古屋市	1.65
弥富市	1.56
みよし市	1.81
あま市	1.55
長久手市	1.55
愛知郡 東郷町	1.67
西春日井郡 豊山町	1.74
丹羽郡 大口町	1.72
丹羽郡 扶桑町	1.62
海部郡 大治町	1.84
海部郡 蟹江町	1.45
海部郡 飛島村	1.48
知多郡 阿久比町	1.62
知多郡 東浦町	1.45
知多郡 南知多町	1.42
知多郡 美浜町	1.22
知多郡 武豊町	1.65
額田郡 幸田町	1.77
北設楽郡 設楽町	1.76
北設楽郡 東栄町	1.54
北設楽郡 豊根村	1.51



出典：厚生労働省「平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

／愛知県作成

※平成26年一宮市合計特殊出生率：1.42人